

第3学年 国語科学習指導案

日 時	平成29年	
学 級		
場 所		
授業者		

1 単元名 深まる学びへ 「握手」

2 指導の立場

(1) 単元・題材について

本単元では、登場人物のものの見方や考え方を読み取ることを通して、自分たちの生き方について考えることを目指す。このことは、第3学年「C読むこと」の指導事項、「文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。」につながっている。

本教材は3年生で初めての物語文であり、2年間で行ってきた読み取り方を再度確認して定着させる位置づけであると考え。さらに、登場人物の生き方や考え方から、自分たちの生き方について考えをもてるように指導していく。

本時では、ルロイ修道士が亡くなった一周忌の場面で、主人公が「お前は悪い子だ。」という意味の指言葉を無意識に使う描写に注目する。作中、ルロイ修道士は非常に心優しく、児童擁護施設の園児をととても大切にす人物として描かれている。また、ルロイ修道士に対し、主人公は尊敬や親愛の念を抱いている。このように互いを大切に思う関係にありながら、作品の結末は「お前は悪い子だ。」で終わる。この「お前」が誰に向けられたものか、「悪い子」とは何に向けられているのかを読み取ることを通して、ルロイ修道士の死に対する主人公の心情を考えることを目指す。

(2) 生徒の実態について

生徒たちはこれまでに学習指導要領「読むこと」について、次のような力をつけてきた。

- ・文中の語句の意味を正しく理解して、読み取る力。(1年ーア)(2年ーア)
- ・場面同士を比べ、心情の変化を読み取る力。(1年ーウ)
- ・比喩表現などの表現技法や情景描写、人物描写に着目して読み取る力。(1年ーウ)(2年ーイ)
- ・読み取った人物像や心情をもとに、自分の考えをもつ力。(2年ーエ)

例えば、2年生最後の物語文「走れメロス」では、単元の終末で「山賊は王に命令されてメロスの足止めをしたのか」という初発の疑問について考えた。その際、王やメロスの人物像に注目する生徒、山賊のセリフに注目する生徒、王とメロスの間で交わした約束に注目する生徒など多様な観点から根拠をもち、自分の考えをまとめることができた。

単元の導入でレディネステストでも、人物の心情について、自分の考えを書きことができる生徒は多くいる。3年生では、さらに、登場人物の行動や考え方についてどう思うのか、考えをもつ力をつけていく。

設問	一線部①のような気持ちになったのはなぜですか。説明しなさい。	一線部②の時、主人公はどのような心情であったと考えられますか。本文中の描写を使って、根拠も含めて書きなさい。	ここでの登場人物の描写から、あなたはどのように生きていくとよいと思いましたか。誰の描写から考えたかをはっきりさせ、あなたの考えを書きなさい。
正答率 (%)	92.0	60.0	28.0

(3) 指導にあたって

本単元では、登場人物の生き方や考え方から、自分たちの生き方を考えることを目指す。そのためにはまず、登場人物がどのような生き方や考え方をしているかを読み取る必要がある。特に登場人物の「手」に関わる描写に着目することで、心情を読み取ることができ、そこから生き方や考え方を捉

えることができる。

そこで本時では、最後の場面での主人公の心情を読み取る。本文の描写を根拠として、「誰の、どのようなことを『悪い』と考えているのか。」を読み取り、そこから主人公の心情を考える。そこから次時の「この考え方について、自分はどう思うのか。」という考えの形成につなげていく。

3 研究主題「できる・分かる喜びを自信に変えて学び続ける生徒の育成」とのかかわり

【研究内容1】 教科間での共通事項・終末の10分の持ち方を工夫する

本時ではまず、全体交流で前時までの内容を確認した上で、個人追究を行う。授業後半では、個人追究で読み取った内容を、小集団で交流する。小集団交流を行うことで、個人では気付かなかった表現があることを知ったり、同じ表現でも、別の読み取り方があることに気付いたりするはずである。

そして、終末の10分では、交流して分かったことを生かしてまとめを書く。こうすることで、個人追究のみでまとめるよりも、より深いまとめができるようになる。最後に、まとめを全体で発表し、内容の確認を行う。この時、疑問として残ったことを交流し、次時の課題として考えていく。

【研究内容2】 できた・分かったと生徒が実感できる教師の働きかけを工夫する

(1) 学ぶ必然を生み出す言語活動の設定と、課題のもたせ方

第3時で主人公のルロイ修道士に対する心情を読み取る中で、最後の描写に着目する生徒がいる。まとめる中で、「なぜ最後に主人公は指を打ちつけたのだろう。」という疑問を生徒から出させ、本時はその疑問を解決する1時間であることを共通で理解する。そうすることで、学ぶ必然を生み出すことができるようになる。

さらに、終末で小集団交流を行い、まとめを書くが、「お前」の捉え方が異なることが予想される。「どの意見も根拠がはっきりしているのに、『お前』が違ってきたのはなぜだろう。」という疑問を残すことで、次時の課題へとつなげ、学習の必然性を生み出す。

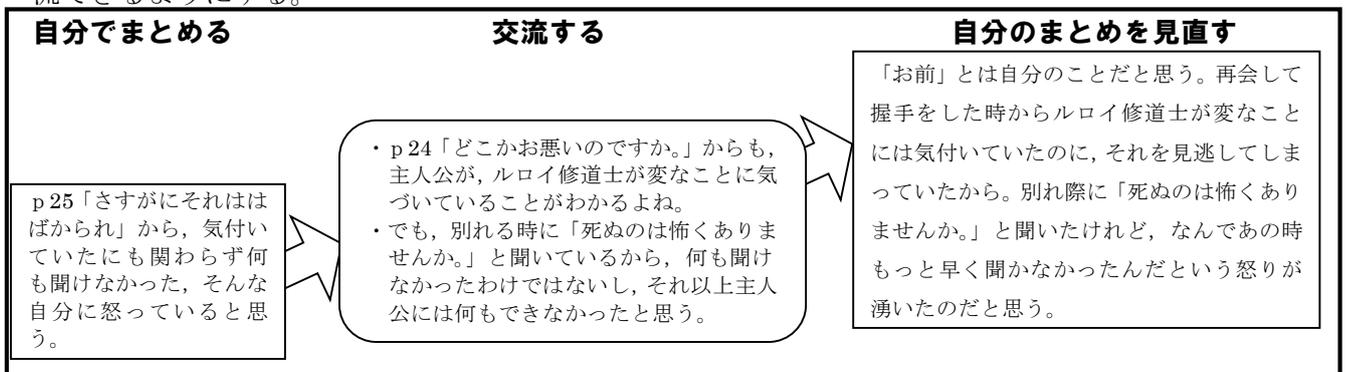
(2) 効果的に課題解決ができる学習集団の創造

個人追究を行った後、小集団交流を行う。小集団交流を行うことによって、主体的に意見を交流し、自分の気付かなかった考えを知ったり、自分の考えを見つめ直したりできる環境をつくる。小集団の形態は、単位時間の交流の目的に応じて変える。

本時の交流の目的は、考えの根拠となる描写を交流し、自分の気付かなかった描写に着目することで、考えを広げたり深めたりすることである。そのため、3人を基本とした小集団を形成する。発言者1人に対して、2人の聞き手を作ることで、より多くの考えを交流できると考えたからである。また、自分たちの読み取りを発表するだけでなく、新しい根拠を探すことを通して、自分たちで学びあう場面を作る。

(3) 学び合いを通して課題を解決する指導・援助のあり方

本時は、小集団をつくり、「指を打ちつけた主人公の気持ち」について互いの考えを交流する。3つの観点を交流前に提示することで、何について話し合えばよいかをはっきりさせ、スムーズに交流できるようにする。



4 単元指導計画

単元目標

- 登場人物の人物像を捉え、内容の理解に役立てることができる。(読むーイ)
- 文章を読んで登場人物の考え方に触れ、人間や社会について考え、自分の意見をもつことができる。(読むーエ)

単元指導計画 (全8時間)

次	時	ねらい	学習活動	評価規準
目的をもって読む	1	本文を通読し、感想や疑問をまとめ、単元の見通しをもつことができる。	1 タイトルについて考える。 2 課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">作品の感想や疑問をまとめ、単元の見通しをもとう。</div> 3 本文を通読する。 4 交流する。 5 単元をつらぬく課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">登場人物の心情や人物像を読み取り、そこから人間や社会のあり方について、自分の考えを書こう。</div>	【関心・意欲・態度】 本文を通読し、感想や疑問点を書いている。(ノート) 終末の10分 作品に対する感想や疑問を交流し、単元の見通しをもつ。
	2	ルロイ修道士の行動描写から、人物像をまとめることができる。	1 単元をつらぬく課題を確認する。 2 本時の課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ルロイ修道士はどのような人物かまとめよう。</div> 3 一人読みをし、全体で交流する。 4 ルロイ修道士がどのような人物かをまとめる。 5 小集団交流をする。 6 まとめに加筆・修正をする。 7 全体でまとめを交流し、次時の課題を確認する。 《言語活動》 ・ルロイ修道士の人物像をまとめる。	【読むこと】イ ・ルロイ修道士の行動描写から人物像を読み取り、まとめている。(ノート) 終末の10分 人物像についてまとめたことを交流し、自分のまとめを見直す。そして、疑問から次時の課題をつくる。
	3	主人公の行動や心情の描写から、ルロイ修道士に対する尊敬や親愛の気持ちを捉えてまとめることができる。	1 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">主人公はルロイ修道士のことをどのように思っていたのだろう。</div> 3 一人読みをし、全体で交流する。 4 ルロイ修道士に対する主人公の気持ちをまとめる。 5 小集団交流をする。 6 まとめに加筆・修正をする。 7 全体でまとめを交流し、次時の課題を確認する。 《言語活動》 ・ルロイ修道士に対する尊敬や親愛の気持ちがあることをまとめる。	【読むこと】イ ・主人公に関わる描写から、尊敬や親愛の気持ちがあることをまとめている。(ノート) 終末の10分 主人公の心情についてまとめたことを交流し、自分のまとめを見直す。そして、疑問から次時の課題をつくる。
	4	手に関わる描写やセリフなどから登場人物の考え方を読み取ることを通して、主人公が指を打ちつけたときの心情について自分の考えをまとめることができる。	1 前時までの学習内容と、疑問点を確認する 2 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">指を打ちつけた主人公の思いを読み取ろう。</div> 3 個人で読み取りを行う。 4 小集団交流を行う。 5 全体交流を行う。 6 仲間の意見から考えたことも含め、まとめを書く。 7 全体でまとめを交流し、次時の課題を確認する。 《言語活動》 ・本文の描写を根拠として心情を読み取り、交流を通して考えを広め、根拠を明確にして考えをまとめる。	【読むこと】イ ・主人公の心情について、本文から読み取ったことを根拠として考えをまとめている。(ノート) 終末の10分 考えを交流した後、自分の文章を見直し、仲間の意見から考えたことも含めてまとめを書く。まとめを交流し、残った疑問から次時の課題をつくる。
	本時			
		自分の考えの形成		

5	<p>登場人物の考え方から、相手をどのように思いやっているかを考えることを通して、自分たちの生き方について考えをまとめることができる。</p>	<p>1 前時の学習内容を確認する。 2 課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>登場人物の考え方の違いを捉え、自分たちの生き方を考えよう。</p> </div> <p>3 主人公とルイ修道士との考えの違いを捉える。 4 最後の主人公の心情に対し、どのように思ったかを考え、自分の生き方について考えをまとめる。 5 小集団交流を行う。 6 文章を加筆・修正する。</p>	<p>【読むこと】エ</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の考え方に触れながら、自分の生き方について考えをまとめている。(ノート) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>終末の10分</p> <p>小集団交流を通して出た意見をもとに、自分の文章を見直し、加筆、修正して考えをより深める。</p> </div>
6	<p>3回の握手の場面と、その描かれ方から、その役割について自分の考えをまとめることができる。</p>	<p>1 課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3回の握手の描写には、それぞれどのような役割があるのだろう。</p> </div> <p>2 握手する場面と、その様子について確認する。 3 それぞれの握手の描写から読み取れる心情や人物像を考える。 4 全体交流をする。 5 3回の握手の描写の役割について、自分の考えをまとめる。 6 小集団交流を行う。 7 文章を加筆・修正をする。</p> <p>《言語活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面や様子、既習の人物像などを根拠として、それぞれの握手の描写の役割について自分の考えをまとめる。 	<p>【読むこと】ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの握手の描写の役割について、自分の考えをまとめている。(ノート) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>終末の10分</p> <p>小集団交流を通して出た意見をもとに、自分の文章を見直し、根拠を加筆、修正して考えをより深める。</p> </div>
7	<p>人物像や心情など、読み取ってきたことをもとに、印象に残る場面を選び、そこから自分たちの生き方について考えをまとめることができる。</p>	<p>1 課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>印象に残った場面を紹介し、自分たちの生き方について意見をまとめよう。</p> </div> <p>2 活動の流れを確認する。 3 文章の観点に沿って、個人でまとめる。 4 観点について、文章を見直し、自己評価する。</p> <p>《言語活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物設定や、場面の展開に沿った心情変化に触れ、印象に残った場面について、自分の考えをまとめる。 	<p>【読むこと】エ</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物設定や場面の展開について、自分の考えをまとめている。(ノート) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>終末の10分</p> <p>観点をもとに文章を見直し、足りない部分を加筆、修正するなどして、考えをより深める。</p> </div>
8	<p>仲間の考えと自分の考えを比べ、自分たちの生き方について考えを広げることができる。</p>	<p>1 課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>印象に残った場面を紹介し合い、自分たちの生き方について考えよう。</p> </div> <p>2 自分の文章を読み直し、紹介の準備をする。 3 小集団交流を行い、互いに印象に残った場面を紹介する。 4 仲間の紹介を聞き、自分の考えをまとめる。 5 書いたまとめを全体で交流する。</p> <p>《言語活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> 仲間の考えに対する感想を、根拠を明確にしてまとめる。 	<p>【書くこと】エ</p> <ul style="list-style-type: none"> 仲間の意見も含め、自分の考えをまとめている。(ノート) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>終末の10分</p> <p>書いた文章を全体で交流し、仲間の批評の仕方を知って、自分の考えをより深める。</p> </div>

5 本時のねらい

手に関わる描写やセリフなどから登場人物の考え方を読み取ることを通して、主人公が指を打ちつけたときの心情について根拠をもって自分の考えをまとめることができる。(読むーイ)

6 本時の展開 (本時の位置 4 / 8)

過程	学 習 活 動	【研究 2】教師の働きかけ
導入	<p><前時までの学習を振り返る></p> <ul style="list-style-type: none"> ルロイ修道士に対して、主人公は尊敬や親愛の気持ちがあったことを確認する。 第1時で、作品の終わり方について疑問が出たことを確認する。 「指を打ちつける」という行動が「お前は悪い子だ」という意味であったことを確認する。 <p><課題把握> 指を打ちつけた時の主人公の思いを読み取ろう。</p> <p><個人追究></p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の観点を確認し、主人公が指を打ちつけた時の思いについて読み取る。 <p><描写></p> <ul style="list-style-type: none"> はてなと心の中で首をかきあげた 思い切ってきた。 <p><心情や考え></p> <ul style="list-style-type: none"> 違和感をもち、ずっと心配している。 別れる前に本当のことを話してほしい。 <p>「お前」とはルロイ修道士のこと。ずっと心配していたのに、本当のことを話してくれなくて悔しかったと思う。</p> <p><描写></p> <ul style="list-style-type: none"> さすがにそれははばかられ、 右の親指をびんと立てた。 <p><心情や考え></p> <ul style="list-style-type: none"> 先生が死ぬのかなんて考えたくない。 先生の言ったことに納得し、受け入れた。 <p>「お前」とは自分のこと。ルロイ修道士と別れる場で、「わかりました」と先生の言ったことを受け入れてしまった自分に腹がたっていると思う。</p> <p><小集団交流></p> <ul style="list-style-type: none"> 3人グループで、考えを交流する。 小集団交流の観点をもとに、自分の考えを仲間に伝える。 <p>Bさん どこから分かった？</p> <p>Aさん 「お前」はルロイ修道士のこと。ずっと心配していたのに、本当のことを話してくれなくて悔しかったと思う。</p> <p>Cさん その後、「わかりました。」の指言葉をしているから、ルロイ修道士の行動には納得しているんじゃないかな。</p> <p>Aさん 「思い切って聞いた」から、決心したのに、結局病気のことを話してくれなかったところから考えたよ。</p> <p><全体交流></p> <ul style="list-style-type: none"> 小集団交流の中で、自分では気付かなかった視点や根拠となる描写を交流する。 <p>私たちのグループで、「お前」とは病気のことだという意見が出ました。根拠は、主人公が指を打ちつけたのは「体中が悪い腫瘍の巣になっていた」ということを聞いた時だからです。</p> <p><交流を通して自分の考えを見直し、まとめを書く></p> <ul style="list-style-type: none"> 根拠を明確にした上で「お前」とは誰かを考え、そこから主人公の心情についてまとめる。また、仲間の意見から考えたことについてもまとめる。 <p>「お前」とはルロイ修道士のことだと思う。最後に勇気を出して「思い切って聞いた」とあるのに、病気の本当のことを知ったのは1年経ってからなので、大好きな先生に本当のことを話してもらえず、悔しかったのだと思う。</p> <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 根拠を明確にして、主人公の心情をまとめられたことを価値付ける。また、交流の中で、より多くの根拠を見つけたり、違う視点で根拠を探したりしていた生徒の姿を価値付け、考えを広げたり深めたりする時に、本文を根拠としていくとよいことを方向づける。 <p><次時の課題づくり></p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ本文から読み取ったのに、「お前」の捉え方が違ったことを確認する。 →なぜ、このような違いが出てきたのだろう。 	<p>本時の観点</p> <ol style="list-style-type: none"> 「お前」が誰かをはっきりさせる。 根拠となる本文の描写を書く。 指を打ちつけた主人公の心情を書く。 他に根拠となる描写はないか探す。 <p>この4点について、個人追究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み取りの苦手な生徒の教科書、P28 6行目の「そのことを聞いたとき」に教師が線を引く。「そのこと」が直前の文を指していることを示して、そこから考えさせる。 小集団交流でも、本時の観点到に沿って話し合いを進める。 仲間の意見から分かった描写には、教科書に線を引く。その際、長く引き過ぎている生徒に対しては、特にどの言葉が大切かを問う。
終末 10分	<p><評価規準></p> <ul style="list-style-type: none"> 主人公の心情について、本文から読み取ったことを根拠として考えをまとめている。 <p><評価場面> まとめの文章</p>	<p>【研究 1】 終末の10分</p> <p>交流で分かったことも含め、本文から読み取ったことを根拠として主人公の心情について自分の考えをまとめる。</p>